

下京のひびき

市民しんぶん下京区版

1・15

推計人口	男	女
76,246人	35,200人	41,046人
世帯数	40,559世帯	
(平成20年12月1日現在)		

あけましておめでとうございます

輝かしい新年とともに、下京区は130周年を迎えました

悠久の歴史と伝統に育まれた町衆文化を今に受け継ぎ、京都らしい風情とたえずまいを色濃く残す下京区は、明治12年(1879年)3月14日に新たな行政単位として位置づけられてから、本年で130周年を迎えました。

この記念すべき130周年を機に、町衆の良き伝統と地域の絆を守り、次の世代に引き継いでいくことを目指して、昨年3月に「下京区130周年記念事業実行委員会」(区内の各学区や各種団体の会長が参画)が設立されました。

委員会では、区民の皆さんが下京区をもっともつと好きになっていただけるよう、3月14日の発進式を皮切りに、下京のまちを盛り上げる各種記念事業を展開していきます。区民の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

本年が、下京区にとって更なる飛躍の年となるとともに、皆様が、ますますご健勝でご多幸の一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

下京区130周年記念事業

■発進式

開催日 平成21年3月14日(土)
場所 池坊短期大学内

内容 講演会・シンポジウム
「源融が結ぶ塩竈の縁」など

■記念式典等

開催日 平成21年7月5日(日)
場所 リーガロイヤルホテル京都

■下京区内全域スタンブラー
開催日 平成21年11月8日(日)

■記念誌の発行(21年度)
■関連事業

龍谷大学RECコミュニティカレッジ(市民講座)で「下京区」をテーマとした特別講座を開設(21年度)
そのほかにも下京区内の各企業・団体・大学などにご協力をいただき、130周年を記念したイベント・行事を実施していただきます。

源融が結ぶゆかり

宮城県塩竈市との

交流を促進

「源氏物語」の主人公・光源氏の実在のモデルと言われていた源融が、現在の下京区内の地に作庭した「河原院」は、陸奥国塩竈の浦(現在の宮城県塩竈市)の風景を模して作られ、現在でも「河原院」の跡地に「下京区本塩竈町・塩竈町」の町名を残すなど、下京区と塩竈市とは歴史的に深いつながりを持っています。

そこで区では、3月に下京区誕生130周年を迎えるに当たり、宮城県塩竈市とタイアップをした講演会や関連イベントの実施などを通して交流を深めていきます。

下京区長が塩竈市を訪問

昨年10月に、下京区の神谷俊昭区長が塩竈市を訪問。塩竈市長や市議会議員、商工会議所会頭をはじめ多くの市民の方々と熱烈的な歓迎を受ける中、塩竈市民に下京区のPRを行いました。



多くの塩竈市民の前で下京区のPRを行う神谷下京区長(マリンゲート塩竈)



下京区役所を訪れた塩竈の観光ツアー

塩竈の観光ツアーが

下京区を訪問

昨年12月には、塩釜商工会議所主催の観光ツアーが下京区を訪れ、下京区役所へ訪問するとともに、塩竈とゆかりの深い上徳寺(下京区本塩竈町)で地元区民や六条院小学校児童に対して塩竈物産の試食会を実施しました。

塩竈市長を迎えての講演会・シンポジウムを

開催(21年3月)

更に、下京区が130歳の誕生日を迎える平成21年3月14日(発進式)には、塩竈市長・市議会議員を迎えて、「源融が結ぶ塩竈の縁」と題した講演会・シンポジウムなどを開催する予定です。

であいふれあい町衆のまち
いきいき下京

下京区役所ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/shimogyo/>

市政情報総合案内コールセンター

京都いつでもコール

午前8時～午後9時

市への問い合わせに年中無休でお答えします。

電話 661-3755 FAX 661-5855

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
電子メール kyoto@city.kyoto.lg.jp